

令和5年度第1回四街道市保健福祉審議会会議録

日 時 令和5年5月25日(木) 午後1時30分～午後2時30分
場 所 四街道市役所5階第1会議室
出席者 委員 矢口委員 許斐委員 佐藤委員 秋山委員 渡辺委員 岩谷委員
秋元委員 利光委員 久保木委員 森委員 平賀委員 島田委員
欠席者 委員 澁谷委員 松島委員 鈴木委員
事務局出席者 和田福祉サービス部長 渡辺福祉サービス部副参事
山崎健康こども部長 川田健康こども部副参事
社会福祉課：岡田課長 加藤係長 井上主査補 會田主事
高齢者支援課：三好課長 坂本課長補佐 遠藤係長
藤谷主任主事
健康増進課：塩田課長 高橋係長 永易主査補 中里主任主事
傍聴人 0人

——会議次第——

1. 開 会
2. 諮 問
3. 議 題
 - ① 四街道市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画 第9期計画の策定について
 - ・ 計画の概要及び策定スケジュール
 - ② 第2次健康よっかいどう21プランについて
 - ・ 中間評価及び計画改定
 - ③ 部会の設置について
4. 閉 会

——会議概要——

1. 開会
(配布資料確認等)
2. 諮問
四街道市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画 第9期計画の策定について

3. 議題

- ①四街道市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画 第9期計画の策定について
・計画の概要及び策定スケジュール

【高齢者支援課長】

資料1・2、参考資料①・②に基づき説明

【矢口会長】

ただ今の説明に対してご質問はあるか。

【岩谷委員】

市民参加のアンケート調査中、在宅介護実態調査の1,600名と介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の3,000名とあるが、調査数はどのように決まったのか。

【高齢者支援課長】

在宅介護実態調査の1,600名については、市内の要支援・要介護の認定者が約4,200名で、そのうち施設等入所者やサービス付き高齢者向け住宅入居者の約1,000名を除くと、約3,200名が在宅で生活をしていると考えられる。アンケートは調査数が多いほど精度が高まるが、費用対効果等を考え、約半数の方に調査票が届く事を想定し、1,600名を対象にする事とした。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の3,000名については、地域によって高齢化が進んでいる等の地域の特性を明らかにするため、市内の5中学校区ごとの分析を実施したいと考えており、調査を行うコンサルタントと相談して、それぞれの地域で最低でも600名はないと結果の精度が落ちてしまうという事で、600名×5中学校地区で3,000名とした。

【岩谷委員】

参考資料②に、国の「推計ツール暫定版の提供」と「推計ツール確定版の提供」とあり、これに基づいてサービス見込み量が決まるとの事だが、これは計画策定ごとに変わるのか。

【高齢者支援課長】

推計ツールは計画を策定するためにアップデートされており、介護報酬等が3年ごとに変わってくる場合がある。

- ②第2次健康よつかいどう21プランについて
・中間評価及び計画改定

【健康増進課長】

資料3及び別紙に基づき説明

【矢口会長】

ただ今の説明に対してご質問はあるか。

【森委員】

市民意識調査の回答方法は封書によるものか。アンケートの回答率が低いので、景品を付ける等により、回答率を上げることはできないか。

【健康増進課長】

調査票は封書で出しており、一定期間回答がない方に対しては、葉書で再度通知をしている。当市で実施した他の調査と比較すると回答率は良い方であるが、今後も工夫をしていきたい。

【岩谷委員】

3 昨年度の取組の②関係団体意見交換会の中で、「現場からの意見をいただいた」とあるほか、③実施状況調査の中で、「評価、課題と方向性、事業内容の確認を行った」とあるが、内容が書かれていないので、説明いただける事はあるのか。

【健康増進課長】

関係団体の意見は、取りまとめをしている最中で、次回の部会でお示しする予定である。実施状況調査についても関係各課に調査を依頼しているところで、回答を取りまとめ次第、部会でお示しする。いずれにしてもコロナ禍のため、実施状況も中止になったり、受診控えがあったりという状況が散見される。

【許斐委員】

①の市民意識調査について、中学2年生及び高校2年生の回答率が低いですが、調査対象者に調査内容を理解できるよう働きかけるなど、回答を促すような働きかけが必要ではないか。回答率が上がるよう、調査対象者に対してのアプローチの仕方をもう一度再考していただきたい。

【健康増進課長】

若い方については、紙ではなくインターネットなどの方法についても、次回の計画の段階では検討していきたい。

③部会の設置について

【矢口会長】

部会設置について事務局に説明を依頼。

【事務局】

本日諮問した計画に加え、第2次健康よつかいどう21プランをご審議いただくため、高齢者部会と健康づくり部会の2つの部会の設置を考えている。

【矢口会長】

部会の設置についてご意見はあるか。

【委員】

異議なし。

【矢口会長】

部会委員の選考について事務局からご提案はあるか。

【事務局】

(事務局案を配布)

本会15名と臨時委員1名、計16名を2つの部会に分けて構成したいと考えている。健康プラン21に自殺対策についての計画があるため、健康づくり部会の臨時委員には、その関係に造詣のある方をお願いする予定である。

【矢口会長】

部会の構成メンバーの案についてご意見はあるか。

【委員】

異議なし

【矢口会長】

その他、部会について何かあるか。

【事務局】

部会長の選出については、第1回の部会開催時に互選により選出願いたい。

【矢口会長】

その他、何かあるか。

【島田委員】

今後の部会の開催予定について、分かる範囲で教えていただきたい。

【健康増進課長】

おおよその日程のみで、日にちはまだ決まっていない。

【矢口会長】

早めに会議の日程を知らせて欲しい。

【森委員】

コロナ禍で、市の検診の受診率がどうなっているのか聞きたい。

【健康増進課長】

令和2年度は外出禁止もあり、検診受診率も半分程に減ったが、3・4年度は徐々に回復傾向にある。コロナ禍以前の状況までには戻ってはいないが、少しずつ元に戻りつつある状況である。

【森委員】

会社員は会社での検診を習慣的に受けているが、自営業の方は元気だと検診に行かない方が多いのかなと思う。市の検診を健康増進課の方で市民に啓発してもらいたい。

4. 閉会

【事務局】

次回の審議会開催は、令和6年1月を予定しており、日程等については、あらためて連絡する。その他、ご質問はあるか。

【許斐委員】

日程がまだ決まっていないとの事だが、参加したくても予定が入ることもあるので、1か月程前には連絡が欲しい。

【事務局】

早めに調整をする。

以上で令和5年度第1回四街道市保健福祉審議会を終了とする。